

令和7年度

浜松市立相生小学校 第2回 学校運営協議会

令和7年 7月25日(金)
協議会 13:20~15:30
場 所:多目的室

次 第

〈 司会:前田、 記録:伊藤 〉

開会 開催要件(過半数の出席)確認

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長の選出
- 4 前回会議録確認
- 5 熟議 〈 議長:中川 記録:伊藤、各グループ 〉

(1) 前期学校評価結果と今後の取り組み

熟議(課題を踏まえた改善策の検討)

	運営協議会委員 学校支援コーディネーター	教職員
A	大谷	○宮本 高山 中村 _洸 石岡
B	水谷、中川	○尾嶋 生崎 吉田
C	森田	○新井 森 木場 竹村
D	原、松本	○鳥居 村上 三谷
E	鈴木 _麻 、高橋	○中村 _真 田村 高林
F	鈴木 _徹 、佐々木	○鈴木 _康 駿也 野部

(2) 多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校づくりに必要な支援について
熟議(学校・家庭・地域でできること)

- 6 報告
 - ・学校支援CDからの活動報告
- 7 連絡
 - ・次回開催日時 第3回学校運営協議会 11月12日(水)

資料

1 熟議の流れ【司会：中川】

- 13:30～13:45 学校評価アンケート概要及び熟議の方法についての説明【主幹】
13:45～14:30 熟議（１） 【進行：○各グループリーダー】
①簡単な自己紹介 ②課題に関する情報交換
③解決するための方策
14:30～14:40 机の配置換え、休憩、発表準備
14:40～14:50 各グループの発表
14:45～14:50 机の配置換え、教職員退席
14:50～15:15 熟議（２）

2 熟議（１）について 学校評価アンケート結果及び熟議テーマ

知 学び合い部 ～学び合い、ともに成長する子～

- ①主体的な学習をより進めていくために、家庭学習（宿題など）をどのように進めていくか？
②授業づくり（教材研究）の時間を生み出すために、何ができるか？

- 子供たちは、学習することのよさや学び方が分かっていると感じている。
▲ 保護者は、子供たちがどのように学習しているか、相生小がどのような授業を目指しているか分からないと感じている。
▲ 保護者は、家庭学習に対して様々な意見をもっている。
・宿題を増やしてほしい。 ・自主勉強をさせてほしい。 ・きちんと見取ってほしい。
▲ 教職員は、授業について課題があると感じている。
・日々の授業を工夫する時間的な余裕がないと感じている。
・新しい授業形態への困難さを感じている。

徳 認め合い部 ～自他のよさを知り、認め合い高め合う子～

- ③挨拶への意識をさらに高め、保護者や地域にも伝わる（広がる）ようにしていくために、何ができるか？

- 子供たちは、善悪の判断や挨拶についての意識が高まっていると感じている。
▲ 保護者は、子供たちの挨拶への意識が低いと感じている。
○ 教職員は、挨拶ができるような手立てを講じていると感じている。

体 鍛え合い部 ～心身ともに健康で、鍛え合い、あきらめずに挑戦し続ける子～

- ④休み時間（生き生きタイムと昼休み）に子供たちが安心して遊ぶ（運動など）できる環境をつくるためにできることは何か？

- 子供たちが、体を動かすことが楽しく進んで運動したり、健康に気を付けて生活したりできていると感じている。
▲ 教職員が、進んで運動するような手立てを十分に講じることができていないと感じている。（休み時間の子供たちの様子把握や声掛けをする時間的余裕のなさ）

キャリア教育

⑤子供たちが一層、自分の考えをもって挑戦したり、夢や希望をもって自分らしく学んでいったりするために、何ができるか？

- 子供たちは、キャリア4項目について意識をしていると感じている。
- 保護者は、子供たちが話を聞いたり、友達と協力したりできていると感じている。
- ▲ 保護者は、子供たちが自分の考えで挑戦したり、夢や目標をもって学んだりすることができていないと感じている。
- ▲ 保護者のキャリア教育の4つの力についての理解が低くなっている。
- ▲ 教職員は、自分の考えた方法で挑戦することができるような手立てを講じることができていないと感じている。

支え合い部

～家庭・地域と連携・共同し、ともに歩む学校～

～心身ともに健康で、明るく元気な教職員がいる活力ある学校～

⑥登下校の見守りを含め、よりよい連携、よりよい活動をしていくために何ができるか？
⑦教職員が、子供と向き合う時間（直接的に関わる時間、授業づくりなど準備の時間）を確保するために何ができるか？

- 子供たちの9割が学校が楽しいと感じている。（▲楽しくない子も1割いる）
- 子供たちが、ボランティアさんに支援してもらった学習を楽しんでいる。
- ▲ 保護者から、登下校の見守り強化を求める声がある。
- ▲ 教職員が、情報機器の活用や環境整備について課題を感じている。これは校務のシステムが大きく変更されたことが関係している。
- ▲ 教職員は、CS関係の連絡・調整についてやや低くなっているが、質問内容が変わったからだと考える。
- ▲ 教職員は、一昨年度や昨年度と比較すると、子供と向き合う時間の確保するための手立てを講じていると、少しずつ感じ始めている。タイムマネジメントへの意識、PDCAへの意識も少しずつ高まっている。ただ、それでもまだ課題が多いと感じている。

その他